

ふく チャレ

福島から世界へ！
その夢を大きく
羽ばたかせています



東稜高校のダンス部の仲間と一緒に。「誰かと踊ることが楽しいと思えたのは高校に入ってから。部員の頑張る姿と笑顔にいつも力をもらっています」と一条さん。

福島東稜高校

いちじょう みゆ
一条 未悠さん
(福島市)

2022年7月にアメリカで開催された「Showstopper」^{ファイナル}「Final」に日本代表として出場し、ソロのシニア部門で日本人初の「優勝」という快挙を成し遂げた一条さん。ダンスを習っていた姉の影響と母親の勧めもあって、小学校1年生からダンスを習い始めました。「踊り方や音の取り方など、全く同じ人がいないというところがダンスの魅力」と話します。

一条さんのダンスは、全身からあふれ出るパワーとしなやかさが持ち味で、世界大会でも「みんなと同じことをしても優勝できない」と得意のワック^{※2}とジャズを組み合わせ、日本の和を取り入れた独自のスタイルで挑みました。「いちかばちかの挑戦でした」と言いますが、それが功を奏して見事優勝。そんなチャレンジングな姿勢を今後貫きながら、卒業後は世界を見据えつつフリーのダンサーとして、東京を中心に活動をしていく予定なのだとか。「これからも周りへの感謝を忘れず、困難なことも乗り越えていきたい。そして、福島にも指導者など何らかの形で関わっていったら」と故郷を大切に思う気持ちを胸に、福島から世界へ、その翼を強くしなやかに羽ばたかせていきます。

※1 全米で最も古く権威あるジャズダンスの大会。過去にはビヨンセなどの大スターも輩出している。
※2 腕をムチのように振り回したり、腕を体に巻きつけるような動きが特徴的なダンス。



ダンスをするときはいつも、観客全員にすごいと思ってもらえるような踊りを意識しているのだとか。



大会の衣装は母の手作り。「いつも近くで見守ってくれる母の支えが一番大きい」とのことです。



「中学生にダンスを教える機会があり、それから指導者への思いも強くなりました」と一条さん。

